

施策評価調書(24年度実績)

施策コード Ⅱ-1-(4)

政策体系	施策名	効率的で持続性のある生産基盤・環境づくり	所管部局名	農林水産部	長期総合計画頁	83
	政策名	知恵を出し汗をかいてもうかる農林水産業の振興	関係部局名	農林水産部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	持続的で安定した経営を目指した水田農業の効率的展開	森林の持つ公益的機能の維持と木材生産機能の増進	資源管理の強化と新たな地域・魚種での養殖業の展開	鳥獣害対策の徹底による被害の軽減

【Ⅱ. 目標指標】

指標	関連する取組No.	基準値		24年度			25年度	27年度	目標達成度(%)						
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125		
i	排水対策済み水田面積(平成13年度以降実施した面積:ha)	①	H15 527	1,726	1,742	100.9%	1,816	2,000							
ii	長期育成循環林の面積(ha)	②	H16 623	9,196	9,755	106.1%	10,464	13,000							
iii	資源管理強化魚種数(魚種)	③	H16 9	14	14	100.0%	15	15							
iv	鳥獣による被害額(百万円/年)	④	H21 313	260	287	89.6%	240	200以下							

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	達成	理由等	平均評価
i	達成	集落営農組織や大規模生産者を中心に排水対策による収量・品質の向上効果や新規品目の導入について理解醸成を図った結果、4振興局管内(東部:33.5ha・豊肥:13.4ha・西部:1.1ha・北部:22.9ha)で排水対策事業を実施し、目標値を達成した。	達成
ii	達成	長期育成循環林へと誘導する間伐施業(1,763ha)を計画的に実施した結果、目標値を達成した。	
iii	達成	資源管理・漁業所得補償対策の実施に伴い、資源管理強化の実施海域や対象魚種の拡大に取り組んだ結果、目標値を達成した。	
iv	達成不十分	実績は目標値に至らなかったが、年々被害金額は減少傾向にあり、平成5年度以来の被害額3億円以下を達成するなど、対策の効果は現れてきている。引き続き、集落環境・予防・捕獲・獣肉利活用の4つの対策を効果的に実施していく。	

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・24年度は7地区、59.8haでほ場整備事業を実施した結果、年度末の水田ほ場整備済み面積は28,168haと年度目標の28,206haに対する達成率は99.9%となった。
②	・施業の集約化を進めている団地を中心に森林作業道等の路網整備を進めた結果、効率的な素材生産体制の構築が図られた。
③	・県農林水産研究指導センター水産研究部浅海チームの指導により、県内民間業者においてイワガキ種苗143千個を生産することができた。
④	・予防策である防護柵の設置(970km)や鳥獣害対策アドバイザー研修会(6回)の実施により人材育成に取り組んだ。また、鳥獣被害対策本部会議(3回)を開催し、関係機関が一体となった取組を進めた。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(24年度事業)	事業コスト(千円)	25年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	水田農業構造改革支援事業	210,555	終了	185
	(公)ほ場整備促進事業	1,779,494	継続	192
	(公)中山間地域総合整備事業	2,649,835	継続	193
②	林業再生路網整備事業	364,812	継続	189
	(公)林道事業	1,372,600	継続	194
	(公)造林事業	1,867,883	継続	195
③	資源管理強化拡大対策事業	33,298	継続	191
	地域養殖業振興対策事業	12,106	継続	190
	(公)沿岸漁場基盤整備事業	1,252,990	継続	196
④	鳥獣害被害総合対策事業	380,281	継続	186
	森林シカ被害防止対策事業	96,567	継続	187
	鳥獣害と戦う集落支援事業	16,673	継続	188

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

○県政ふれあいトーク(H24. 10. 17) ・有害鳥獣捕獲について、国東半島ではイノシシは減少したがシカは増加しているようだ。シカ対策にも積極的に取り組んで欲しい。	○県政モニター(H25. 1. 17) ・急傾斜地に植林された針葉樹などは、30から40年生でも豪雨に見舞われると流木化しかねない。県の助成による間伐等で立木の根もしっかりしてきたが、引き続き適正な山林整備に対する助成と指導をお願いする。
---	--

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・水田のほ場整備面積は、目標面積の99.9%とほぼ達成している。今後も効率的な水田農業の展開を図るため、水田基盤の整備を引き続き実施する。 ・森林の持つ公益的機能の維持と同時に木材生産機能の増進を図るため、間伐等の森林整備や林道等の路網整備を引き続き進めていく。 ・本県の水産資源の維持増大を図るため、一部地域や魚種に限られている公的規制を伴った資源管理と種苗放流による資源管理強化の取り組みを引き続き拡大していく。 ・鳥獣による被害額は減少傾向にあり、被害対策の効果が現れている。今後も集落環境対策としての「戦う集落づくり」や、シカの捕獲対策を推進していく。